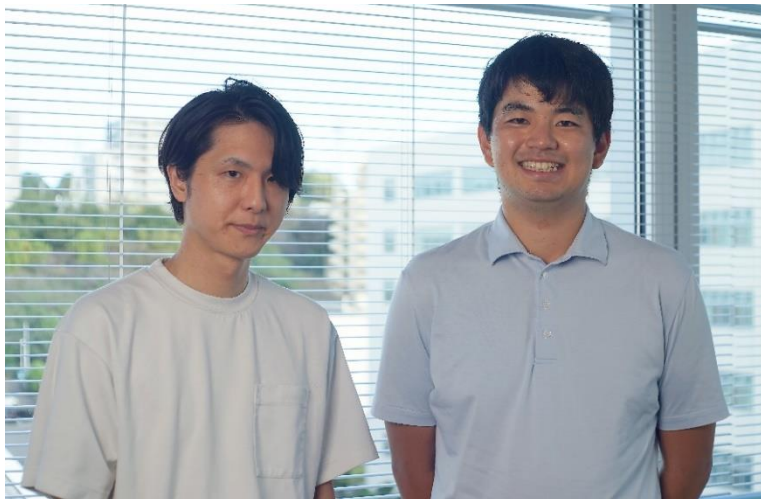


お知らせ

2024 年 10 月 11 日

日立社員が CNCF の Kubernetes 全資格を持つ「Kubestronaut」に認定 クラウドネイティブ技術に精通したトップエンジニアを育成し、企業の IT モダナイゼーションや DX に貢献



「Kubestronaut」に認定された日立の松田 元輝(左)と宮崎 星冬(右)

株式会社日立製作所(以下、日立)マネージド&プラットフォームサービス事業部に所属する松田 元輝と宮崎 星冬が、クラウドネイティブ技術の開発や普及をリードする Cloud Native Computing Foundation(以下、CNCF)の Kubernetes の資格^{*1} 全 5 種を同時に保持するトップエンジニアとして、「Kubestronaut」^{*2} に認定されました。

本資格は、コンテナ基盤である Kubernetes に関する深い知識に加え、セキュリティやクラウドネイティブアプリケーションの開発に関する幅広い知識が求められます。また、本資格の維持には、最新技術に精通し、定期的な試験に合格し続ける必要があります。日立は、こうした高いクラウドネイティブ技術を有するトップエンジニアの育成に注力し、企業の IT モダナイゼーションや DX 推進に貢献していきます。

*1 CNCF が管理する Kubernetes の認定資格である CKA(Certified Kubernetes Administrator)、CKAD(Certified Kubernetes Application Developer)、CKS(Certified Kubernetes Security Specialist)、KCNA(Kubernetes and Cloud Native Associate)、KCSA(Kubernetes and Cloud Security Associate)。各資格の有効期間は取得から 2 年間。

*2 CNCF の認定資格制度「Kubestronaut Program」<https://www.cncf.io/training/kubestronaut/>
(2024 年 10 月 8 日時点で公開されている資格認定者は、世界で 670 名、うち日本で 19 名)

日立は、クラウド・DX 推進のパートナーとして、お客さまのめざす未来に伴走する「クラウド & DX オファリング」などを通じてお客さまに価値を提供するため、クラウドエンジニアの育成に注力しています。その一環として、クラウドベンダーごとの資格取得に加え、クラウドネイティブなプラットフォームからアプリケーションまでカバーする Kubernetes 資格取得を奨励し、社内向け勉強会を開催するなどエンジニアのスキル向上をサポートしています。今後も日立は、進化の早いクラウドネイティブの分野において、高い技術力や深い知識を持つクラウドエンジニアの育成を続け、企業のビジネス変革を支援していきます。

なお、「Open Source Summit Japan」(10 月 28 日(月)～29 日(火))の併設イベントとして、Kubestronaut 資格認定者によるパネルディスカッションなどが 29 日(火)18:00～19:30 に予定され、日立はライトニングトークに登壇します。

- 併設イベントの詳細・申込はこちら(Cloud Native Community Japan - Let's become Kubestronaut)
<https://community.cncf.io/e/mprgzm/>

関連サイト

【Cloud Native Computing Foundation 関連サイト】

- ・Kubestronaut Program

<https://www.cncf.io/training/kubestronaut/>

【日立関連サイト】

- ・OSS(オープンソース・ソフトウェア)

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/oss/index.html>

- ・クラウド & DX オファリング

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/CloudDX/?ni=241011>

商標関連

- ・記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の登録商標もしくは商標です。

お問い合わせ先

- ・株式会社日立製作所 クラウドサービスプラットフォームビジネスユニット マネージド&プラットフォームサービス事業部

<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上